

生活創造しんぶん

Wa'Wa'Wa'

編集・発行
姫路市北条1-98 姫路総合庁舎
中播磨消費生活創造センター
生活創造応援隊

特集

トマト・しょうが

しんぶんを通して、人の Wa・平和の Wa・話の Wa など限らない Wa に出会いたい…そんな Wa を伝えていきます。 (生活創造応援隊 一同)



見る人には一瞬でしょうが、版画をする者にとって見れば、ずいぶんと手がかかっていて、大作です。

堰からあふれる水。その光。その音。井堰、利水、田植え。いまの季節にふさわしい版画です。井堰から引かれた水をたどると、人と水との暮らしが見えてきます。その地にふさわしい版画のよき題材になります。水路に水が通じて、暮らしにいきわたる、水のような版画が、作れたらなあ。わたしの版画への願いです。

岩田健三郎

「砥堀井堰」

金澤岩雄

も く じ

桃太郎トマト&新種トマト	P2
竹製品の紹介	P2
新しょうがレシピ	P3
雑巾プロジェクトの報告	P4
登録グループ紹介	P5
登録グループイベント紹介	P6、7
センターからのお知らせ	P8

桃太郎トマト&新種トマト4種 ～香寺町行重～

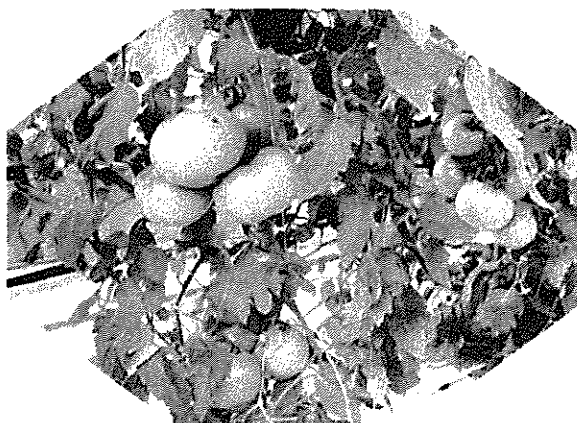
長さ60m幅20mの大きなハウスに桃太郎トマト1400本が植えられている。土は使わず水耕栽培で、切り花に使うオアシスのようなものに植えられ大きな管に水性肥料が流れている。

操作はすべて機械、冷蔵庫のような音を立ててモーターが回っていた。トマトたちは房にたわわになり、緑色に輝いている。人工的に育てられているのに幸福そうな顔をしている。



横に半分くらいの大きさのハウスがあり、ピンキー、トスカーナバイオレット、ピッコロカナリアの3種類と千果(ちか)というトマトが植えられている。大きさはいずれも小さめ。ピンキーは赤い熟した色、トスカーナバイオレットはバイオレット色、ピッコロカナリアはカナリヤ色。3種類をセットにして出荷している。

千果を試食させていただくと美味しいが水っぽい、水をセーブすると甘くなるが形の美しさを追求しているのだという。経営は村の人から昨年神姫バスに移った。インタビューに答えてくれた大森さんは元営業マン。そういえば営業マンらしい顔をしている。私の村の旅行もお世話をいただいたい。 (応援隊 飯沼敬子)



お話を伺った大森さん

竹製品 ～太市の竹を使った商品を紹介～

姫路市太市竹林保全(荒廃竹林)整備の竹を利用し、細工を色々と施した 製品に仕上げました。

光の癒しを考えた品物(門灯、枕灯、防犯灯)にいかがですか？
地産地消で食べるばかりではなく、使うことを考えました。

《問い合わせ》

NPO法人 兵庫県若者らの自立を考える会 代表 阪本光夫



竹の灯籠

新しょうが

今年も“新しょうが”がたくさん店頭などで売られています。
さわやかな香りいっぱいの新しょうがを使ったレシピを3品ご紹介します。

新生姜の佃煮

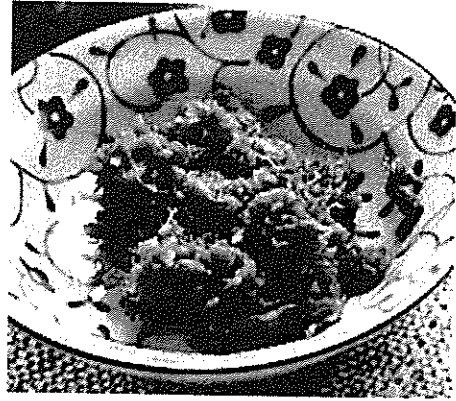
【材料】

新生姜・・・・・・・・・・500グラム
砂糖・・・・・・・・・・1カップ
濃い口醤油・・・・・・・・1/2カップ
みりん・・・・・・・・・・1/4カップ

【作り方】

- 1) 生姜は繊維に沿って薄切りにする。
- 2) 鍋に入れ水を加えて2回茹でこぼす。
- 3) 砂糖、醤油を加えて煮る。煮汁が少なくなったら、みりんを加えて煮詰める。

(応援隊 尾崎美津子)



新しょうがの甘酢漬け

材料 新しょうが 200g
A 湯3カップ 塩大さじ1
B 酢200cc 砂糖80g

作り方

- ① 新しょうがは根元の赤い部分を少し残して薄切りにし、Aの熱湯にくぐらせ、ザルにあげて水をきる。
- ② 鍋にBを入れて火にかけ沸騰させて甘酢を作り、保存容器に絞った①を入れ熱々の甘酢をかけて出来上がり。うっすらとしたピンク色になります。

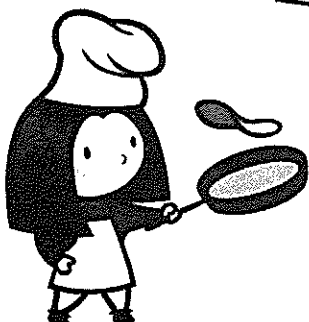
(応援隊 榎谷菊美)

新しょうがごはん

材料：新しょうが 30g
米 2カップ
だし 360cc
淡口醤油 25cc
日本酒 100cc
塩 適宜

作り方：しょうが 4～5cmの糸生姜にして水にさらす。
洗米して、水に1時間浸けておいた米を鍋に入れ、だし、日本酒、水気を切った生姜を入れて炊き上げる。

(応援隊 堀越真弓)



被災地に向けて…

今私たちにできること

絆

53号でお知らせした“手縫い雑巾 1000 枚被災地へ届ける”の報告です



報告会にはたくさんの方が来られ、熱心に聞かれていました

手縫い雑巾は 2000 枚を突破！

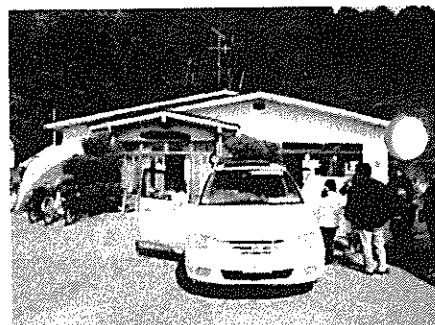
平成23年3月11日に発生した東北大震災で街は壊滅状態。5月30日開催しました報告会で詳しくご紹介しましたが、地震発生の日被災地から出荷された“鯖”が私どもの教室に届き、いてもたってもいられず、行動をおこしました。

津波で被害にあった箇所などの掃除に雑巾が必要だと考え被災地に手縫い雑巾を届けるプロジェクトを立ち上げました。

手縫い雑巾にした訳は、手縫い雑巾の方が雑巾として強力・丈夫。また、手縫いすることによって“まごころ”が伝わる。そう考えて手縫いの雑巾にしました。4月29日石巻市内にあるボランティア拠点2カ所に手縫い雑巾を6箱渡した後、自宅避難者宅で1箱お渡ししました。

右の写真はその方のお店の前にぶら下がっていた使い古されたタオルです。手縫い雑巾は非常に喜んで受け取ってもらえました。「皆様のまごころに本当に感謝しています。一日も早く復旧し、元の生活に戻れるよう従業員共々頑張ります。雑巾作って下さった方々によろしくお伝えください」(80才男性社長談)との事でした。

『食の安全と健康を考える薬膳料理“朝日”』の私たちスタッフ4名は雑巾を渡すだけで終わらず、被災者の方達と一緒に朝から夕方薄暗くなるまで泥出し作業を行いました。「被害に遭った日から3日間はただボーと生きているだけで何もする気がおきなかった。やっと片付ける気持ちになったのは1週間後でした。そして今の片付け生活に身体が慣れたのはごく最近です。とにかく今は、目の前の事をしていこうと思っています。でも、まだ先は考えられませんが。」(60才男性談)



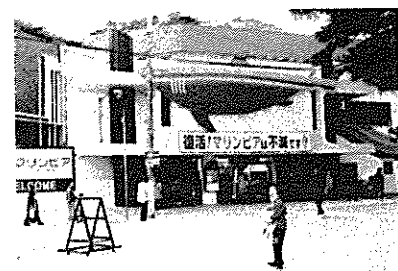
南境生活センター



電柱にぶら下げられた雑巾



こけしの売店のご夫婦



営業を再開した水族館

鳴子温泉近くの川渡温泉では、街は地震による被害はないのですが、風評被害でお客がいらないのを見て来ました。温泉の主人は「源泉掛け流しのお湯で本当に良い温泉です。是非、地元に戻られたら、お越し下さるよう皆様にお伝え下さい」との事でした。

川渡温泉から石巻市・松島市・塩釜市・多賀城市・仙台市・名取市・岩沼市と海岸線を走り、新潟に向かいました。途中の松島市では、こけしを作って60年。直秀こけしの職人さんにお会いできました。80代のご夫婦ですが、凄いパワーのお二人です。津波で店内全てのこけしが流れ、ダメになったそうです。業者から仕入れたこけしと、寝る時間を削りご主人が手作りしたこけしを用意し、僅か1ヶ月で店を再開されたそうです。

松島では水族館も再開し入り口には“復活！マリンピアは不滅です！”の文字が。そして、被災地の方からこんな言葉ももらいました。

“ひやかしても構わない。とにかく現地に来て！！そして、見て！知って！買って欲しい！”との言葉を。

(食の安全と健康を考える薬膳料理“朝日”代表 渡部美智余)

グループ紹介

福崎町消費者の会

永らく親しまれた「福崎町消費生活研究会」は平成23年度の総会で「福崎町消費者の会」となりました。会名は変わっても先輩諸氏のお心はしっかり引きついで活動が続けていきたいと心新たにしています。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて、私達の会は平成23年度の総会が第43回となりますので長い歴史があります。その間、食の安全安心・環境問題・悪質商法の防止などその都度の社会状況をみながら的確、迅速に活動が続いてきたおかげで現在があると感謝いたしております。

最近の活動では町内の小、中学校から環境教室の申し込みを多く頂き廃油からの石けんやキャンドル作りの実習、紙すきで葉書作り、22年度からは子育て支援への活動も加わり「福崎町こどもいきいきクラブ」の「ふくさき歴史体験隊」の活動支援を経験しています。戦時食作りや「冬の天体観望会」の際のあたたかい夜食の準備ですが子供達からの「ありがとう!」に感動です。寒い冬空の下、共に夜空を見上げ澄んだ星空の観測に心洗われる思いを覚えました。



小学校での体験教室



毎年、環境と食の見学会を各1回、買い物袋持参、石けん使用推進運動は町内2店舗でキャンペーンを続けています。ゴミ問題ではミックスペーパー回収用袋を手作りしてその袋に幼稚園児に絵をかいてもらい「環境にやさしいみんなの生活展」で展示して多くのみなさんに環境を考えていただく機会としています。

〈問い合わせ〉「福崎町消費者の会」代表 小國冷子

NPO 法人はりまキッズランド 「大釜こどもの王国」で、自然の中でおもいっきり遊ぼう!

NPO 法人はりまキッズランドは、こどもが遊ぶこと、育つことの、時と場と環境の提供に関する事業を行い、こどもの社会的人格の形成と発達を促進し、健全なこどもの育成に寄与すること、また、お母さん・お父さん方の子育てを支援することを目的として、平成23年2月に設立しました。

主な事業は、「大釜こどもの王国」の運営で、姫路市東町に約1000坪の山林をこどもたちに開放し、自由に自然に触れ、自然と遊ぶ場と環境を提供します。また、森のインストラクターによるいろいろな遊びや工作などの指導も行ないます。



約1000坪の山林で、こどもが自由に遊べます

他にも、親子でさつまいも等を育てる「大釜親子農園」や、兵庫県立こどもの館と共催して「親子ふれあいイベント」も開催しています。

〈問い合わせ〉

「NPO 法人 はりまキッズランド」 代表 柴田和久



イベント情報

福崎町 町制55周年&柳田國男50年祭行事

福崎町は今年1年を通じて2つの記念行事を展開しています。

柳田國男50年祭・山桃忌ほか

- ★平成23年8月6日(土) 13:00~19:30
- ★福崎町文化センター・エルデホール
- ★開会セレモニー・山桃忌・基調講演・シンポジウムほか
- ★参加費 聴講料 2,000 円(町民:無料)
- ★先着 200 名(定員になるまで受け付け)
- ★①夕食会交流会(3,000 円:先着 100 名)
- ②もちむぎ夕食会(2,000 円)の要予約

約2万本のサルビア田園アート

町制 55 周年を記念して、福崎町の花「サルビア」をボランティア 200 人名により「町章」と「55」の文字を形どり、植えました。

場所：もちむぎのやかた
北側農地



フィールドワーク「柳田國男ゆかりの地を歩く」

- ★平成23年8月7日(日) 10:00~11:30
- ★辻川界限
- ★参加費:無料 (1,000 円にて昼食予約受付)

演劇「柳田國男と辻川」

- ～柳田國男 50 年祭 人情喜劇～
- ★平成23年8月7日(日) 13:30~15:00
- ★福崎町文化センター
- ★参加費:無料

福崎町社協ボランティアまつり

- ★平成23年8月7日(日) 9:00~13:00
- ★町民第1グラウンド横駐車場
- ★車椅子体験・フラダンス・飲食店・ウォークラリー・雑貨店他
- ★音楽イベント
吹奏楽・日本舞踊・エイサー・ギター・シャンソン・ボサノバなど

☆福崎町立図書館キャンドルナイト☆

9月9日(金)暗くなってきたら図書館のウッドデッキや庭に廃油から作った約1,000個のキャンドルが灯されます。このキャンドルは、福崎小学校4年生の子どもたちが環境教室で絵を描いたペットボトルに「福崎町消費者の会」の指導で図書館応援隊(ボランティア)が作りました。コンサートも開催。

《問い合わせ》

福崎町立図書館



夏休み親子環境教室

H23年8月1日(月) 10時~12時



場所：市川町谷 ふりこ川
川の生きもの調査

参加費：200円

昼食は市川町ブランド米のおにぎりバイキング

《問い合わせ》

市川町消費者の会

担当 住民環境課 柴田

版の会グループ展

日時：平成23年7月20日(水)~24日(日)

10時~17時

(但し、最終日 16時まで)

入場無料

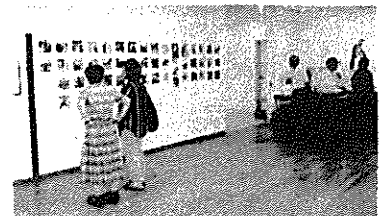
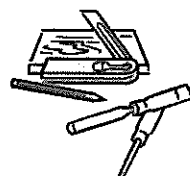
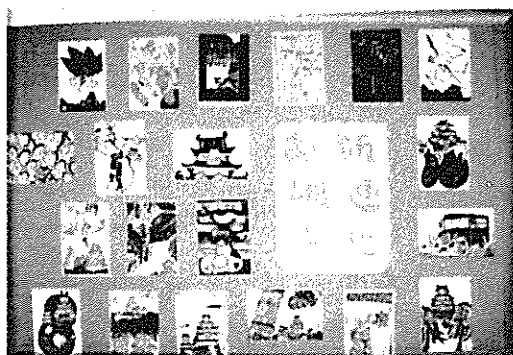
場所：イーグレ姫路 地下一階展示場

毎月、姫路城の周辺をスケッチして、季節の移り変わりを異なった視点で見て、思いおみの楽しい版面に仕上げました。

一度見に来てください。

《問い合わせ》

「版の会」代表 高野雅一



虫送り

虫送りは日本伝統行事の1つで農作物の害虫駆除とその年の豊作を祈願し行われてきました。

～神河町東柏尾～

平成23年7月2日(土)

夏の夕暮れの迫るころ、2本ののぼり旗と「サネモリ」さんを先頭に松明(たいまつ)の行列が続く。稲の成長を願い、五穀豊穡を祈願して「イーネノムーシャラ、グーシャラコイ…」と鐘や太鼓のお囃子に歌いながら行列は進む。

わら作りの「サネモリ」さんは、“ちょんまげ”を結い、髭をはやし、馬に乗って手綱をつかみ、稲の虫を包んだ紙袋を持っている。

虫送りは夏の土用の前の「亥の日」の夕方に行われていた。農薬の無かった昔、憎むべき害虫を追い払おうと村の境まで松明の火で害虫を焼いていく行事。(応援隊 北條ふみ子)

～福崎町山崎～

平成23年7月23日(土) 19時頃～

虫送りは、初夏の夜間、たいまつを焚き、鉦や太鼓をたたきながら行列し、村境で川などに流していました。

農業が普及するまでは全国各地で行われていましたが、火災などの危険性から現在では廃れているところが多くなっているようです。

福崎町山崎では、平成の会(ボランティア団体)がたいまつなどの準備をして、村の役員が消防団の協力を得て、子どもたちのために楽しみな行事として続けています。

山崎の二ノ宮神社に集まり、たいまつに火をつけ、鉦や太鼓をたたきながら、市川の川沿いまで歩きます。(応援隊 小國冷子)



神社に集まった子どもたちは、松明に火をつけ川沿いまで歩く(福崎町山崎の虫送り)

～市川町上牛尾地区～

平成23年7月2日(土)

江戸時代に始まった、夏に行われる行事。農作物の害虫は悪霊に寄ってもたらされるとし、そうした悪霊を追い払う行事。悪霊を藁の人形に移し、鉦や太鼓ではやしなから、村の田を一巡して村境に送り出す。

悪霊とされてきた人物に、斉藤実盛(1111?～1183)がいる。平安末期の武将で、もとは源氏方だったが平家に移る。木曾義仲討伐のために北陸に下り、加賀・篠原で討たれる。それが稲の株にまづいて倒れたせいだとし、その恨みから害虫になって稲を食い荒らす…という伝承が各地に広まった。そのため、藁人形を実盛に見立てて、これを火に投げ入れて燃やす地域も少なくない。

(応援隊 堀越眞弓)



福岡さんの作品

なかはりま・夏の消費生活創造まつり



日時：平成23年8月10日（水）

10時～15時

場所：兵庫県立 こどもの館

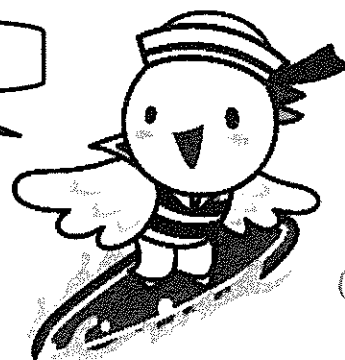
姫路市太市中 925-49



夏休みの宿題もこれでばっちり！片付けちゃうかも～

ピッコロ劇団、展示や体験ブース、コーラス、紙芝居など
盛りだくさん！家族そろって遊びにきてね

はばタンやしろまるひめも遊びに来るよ



＜問い合わせ＞

中播磨県民局中播磨消費生活創造センター

松下・大西

**中播磨地域で
頑張っているグループ・頑張っている人のお話をお寄せください！！**

生活創造しんぶんの紙面でご紹介します。

自薦他薦は問いません。

7月末日までに原稿を郵便・FAX・メールのいずれかの方法でご提供ください。



☆センターの消費生活相談窓口をご利用いただける時間☆

相談受付時間 : 平日 9:00～12:00 13:00～16:30

しんぶんについてのお便り・お問い合わせ

〒670-0947 姫路市北条1-98

中播磨県民局 中播磨消費生活創造センター

ホームページ :

メールアドレス :

生活創造活動コーディネーター（安積）

